



# KSKQ 萌風香 2023年度 秋号

社会福祉法人萌 広報紙 NO.82 2023.10.21 編集人 社会福祉法人萌 定価 150円  
〒630-0256 奈良県生駒市本町7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

誰もが生き活きと  
自分らしく暮らせる  
心豊かな社会を  
創造します。

## 研修・研究センター 気づきの大切さを -虐待防止研修実施-

介護福祉現場での虐待報道を目にすることが多くなった昨今。当法人では、2021年度から虐待防止研修を実施しています。

- ①虐待の発見、報告が速やかにできる
  - ②虐待について日頃から気づける視点を身につける
  - ③虐待のアセスメントのポイントを理解する
- の3点を目標に、年2回(9月、2月)企画運営しています。  
1回目は全職員の動画視聴、2回目は各エリアから2人参加して行う集合研修です。

動画は非常勤職員を含めた全職員が基本的知識を身につける機会に。集合研修では事例をもとに、グループワークで気づきを話し合います。

グループワークは、虐待とは何かを理解し、各自が気づきを得て支援の際に注意すること。報告をあげていくところまでの理解。全体で共有することの必要性などを体験できるように企画しました。

その後、研修参加者はエリア会議で伝達研修を行い、さまざまな行動でも虐待になり得ることへの気づき、どんな解決法があるのかなどを話し合い、全体で深めていきます。

この研修は毎年実施します。萌に設置されている虐待防止員会であがる事例についても参考に(個人が特定されないようになっています)、主に精神障害者の支援を行っている当法人ならではの研修を行いながら地域実践を続けています。

## 運営協議会を開催 よりよい萌へ向かって 前進

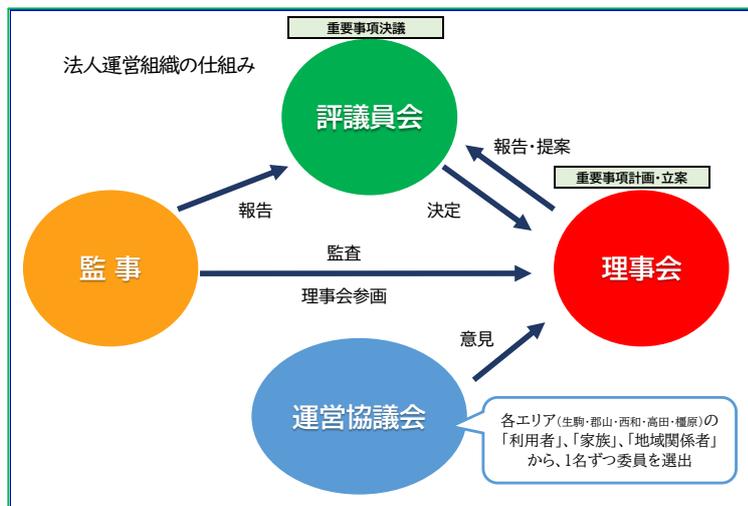
運営協議会を3年ぶりに対面開催しました。

生駒、郡山、西和、高田、橿原の各エリアから、利用者代表、地域家族会代表、地域関係団体代表が出席します。

法人運営・活動についての報告と、それに対する質疑応答、また各エリアでの課題について意見交換しました。

就労支援事業所での工賃アップについて、家族支援の必要性について、職員の人材育成や地域での他団体との連携についてなど多岐にわたっての意見をもらいました。

「萌につながっている私たちは安心だけでも、つながっていない人達もいっぱいいるでしょう?もっと頑張らんとね!」という声に、応えていけるようにしていきます。



感謝!みずほ財団から配達用電気自動車の寄付(詳細は3ページ)

## 四徒然 季

社会福祉法人萌

理事長 吉川郁子

萌では「地域における公益的な取り組みキャンペーン」実施中です。全職員が「自分たちができる地域貢献」のアイデアを出し合います。

普段は障害のある方の生活や就労支援、福祉サービスを実施していますが、活動を通して色々な困りごとのある方たちに出会います。

例えば子育て、老老介護、ひきこもりなど、生きづらさを感じて生活している方が大勢います。

「社会福祉法人」が存在する意義は、利益を追求することになく、誰もが幸せに暮らせる心豊かな社会を創っていくことにあります。生きづらさへの関わりと同時に、愉しく安心して暮らせる街づくりに関わっていききたい。

日頃の恩返しのお返しも込めて、創意工夫を凝らした取り組みを考えるのが役割でもあり楽しみでもあります。

生駒エリア

生活支援センターコスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援センターコスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050
グループホーム楽都	0743-73-0141		

コスモールいこま20周年記念  
～夢いっぱい未来へ向けて～

地域への感謝からつながりへ

今年度から本町自治会の会長に就任した吉川章さんに「自治会と萌との今までのつながり、これからのつながり」をテーマにインタビューをしました。

初めて名前を聞いた時は「萌?はなな?ひだまり?」でした。何でも言ってください!と伝えてくれたが、申し訳なさから頼みづらかった。

でも、徐々に自治会も高齢化となっているので、萌さんの力を本町に貸してほしいと思うようになった。以前まで存在していた「運営委員」が復活するので、萌さんにも参加してもらいたい。

萌さんは地域の人に知ってもらえる、本町は萌さんに力を借りやすくなるという協力し合える関係になりたい。

今年の「どんどこまつり」は、自治会の運営委員という立場で自治会の皆さんと一緒に出店し、商品も完売して大成功に終わりました!吉川会長はお祭り後に「販売ブース裏に自治会の人が集まったという空間ができたことがよかった。こんな活動を続けていきたい」と話しました。

萌としても、貴重な機会を得ることができ、嬉しい限りです。今後も地域の一員として皆さんとのつながりを大切にしながら活動していきます。

本町自治会の皆さん、素敵企画に声をかけてくださり、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



市長も参加者と一緒に笑顔

今年で開所20年目を迎えるコスモールいこまは9月4日に、記念式典を開催しました。

当日は、地域の関係者やひだまりクローバー、家族会等、これまで支えてもらった皆さんや、生駒市の小紫雅史市長も来賓として参加、職員・利用者含め、約40人が集いました。

市長は祝辞のなかで、令和5年度から生駒市で始まっている移行準備事業「かさねるいこま(重層的支援体制整備事業)」に触れ「誰もが住みやすい街にするため、分野を問わずつながって、地域全体で助け合い支えあい、盛り上げていきましょう。私もみなさんに、相談させてもらうことがあると思います」と述べました。

また地域関係者や家族会の皆さんからは、コスモールいこまがここまで来るに至った経緯や、大切にしてきた思いの話がありました。

後半は利用者の楽しい企画!参加者全員で盛り上がりました。

「ゆっくり過ごせる居場所がほしい」「支えあう仲間と出会いたい」「自主的な活動がしたい」そんな当事者や家族の思いを出発点に歩んできた20年間の道のりは、行政や関係機関、何よりも地域のみなさんの理解と協力、支えがなければ、来られませんでした。

これからも初心を忘れず、この街で手をつなぎ、希望と共に歩んでいきます。



赤いタオルの吉川会長 和気あいあいの本町自治会!

## 郡山エリア

生活支援センターふらっと 0743-54-8112 地域活動支援センターふらっと 0743-54-3977  
 ふれあい工房 0743-54-6701 彩食キッチンBon 0743-58-5572  
 グループホームもえぎ館 0743-85-4112

## 4年ぶりでもパワー全開!

～片桐ふれあい祭りに参加してきました～



何本売れるかな?

大和郡山市片桐地区の一大イベント、片桐ふれあい祭り。第32回目という長い歴史をもつこのお祭りは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止が続き、4年ぶりの開催となりました!

郡山エリアから、地域活動支援センターふらっとと彩食キッチンBonが模擬店として参加しました。

久しぶりの出店で、準備も接客もドタバタ状態でした。お隣の模擬店の方やお客さんが「スタッフさんに声をかけてくるわ」「プロちゃうしな。ゆっくりでええよ」と、地域住民の暖かさに救われました。

会場は、お天気にも恵まれ大盛り上がり!コロナ渦の blanks を感じさせない地域住民のパワーに、たくさんの元気をいただきました。今後も地域の一員として、郡山エリアのパワーを発揮しながら、一緒に盛り上げていきたいと思ひます。

## はーとふるフェスタの開催!

福祉施設の授産品や、焼きそばなども販売、ステージイベント、健康相談やゲームコーナーなど子供から大人まで楽しめる内容になっています。



## 小型電気自動車がやってきた!

彩食キッチン Bon では大和郡山市から委託を受けて高齢者への「配食サービス」を行っています。

希望件数は増えてきており、地域ニーズは高まっています。公益財団法人みずほ教育福祉財団の「配食用小型電気自動車寄贈事業」の応募要項を満たすことから申請したところ見事当選しました。

贈呈式ではみずほ教育福祉団体福祉事業部長 安徳和典さんから目録および車輛の贈呈、記念撮影や試乗などを行いました。

Bon(フランス語で美味しい)という名の通り、「食」を通じて地域を支える一員でありたいと思ひます。



電気自動車ありがとうございます♪

## 大和郡山市障害者家族教室のご案内

精神障害のある人を支えるご家族が集い、話し合う勉強会として生まれた大和郡山市主催の「障害者家族教室」が今年も開催されます。

第1回:11月7日(火)

訪問診療について～統合失調症の話も含めて～

第2回:12月7日(木)

精神障害者の家族のかかわり方 ～親亡き後を見据えて～

時間:14:00～15:30

場所:市民交流会館(1階集会室)

※詳しくは大和郡山市役所障害福祉課にお問い合わせください

お詫びと訂正～

2023年7月23日発行の萌風香夏号の掲載記事に誤りがありました。

百壽橋商店のふりがなの表記が「しゃくじゅばし」となっておりまし。正しくは「ひやくじゅばし」です。訂正してお詫びいたします。

## 西和エリア

生活支援センターばると・ベル 0745-43-5541 地域活動支援センターまーぶる 0745-75-6545

らそら 0745-70-1577 グループホーム彩友館 0745-43-9333

### 上牧町ケアマネ向け研修会 計画相談支援事業について

上牧町2000年会館で、上牧町で活動するケアマネージャー向けの研修会に講師として参加しました。

今回は、生活支援センターおはな（西和7町の知的・身体障害の一般相談委託事業所）と一緒に、内容は「サービス等利用計画の書き方」についてです。約20人のケアマネさんたちの参加がありました。

今後も、また介護保険分野で活動している支援者の皆さんと、一緒に学びあう機会をもっていきたいです。



久しぶりの対面での研修会です！

### ハートランドしぎさん 主任看護師向けに交流会を再開！

ハートランドしぎさんで、14病棟の主任看護師さんとの交流会を数年ぶりに行いました。コロナ禍では、オンラインで実施していましたが、ようやく対面での実施です。

内容は「退院支援における福祉サービス導入」について。退院を控えた患者さんを事例とし、退院後スムーズに障害福祉サービスを利用するために、入院中からしておくこと等をお話しました。

これまでは病院-施設間の職員同士の交流会ですが、将来的には入院患者さんと地域で暮らす当事者の方が交流できる機会を作っていきたいです。

## 西和エリア内研修

### ～『オキナワへいこう』上映会・意見交換～



2018年制作(HPから引用)

大西暢夫監督の『オキナワへいこう』の映画観賞会・意見交換会をエリア研修として実施しました。研修会の目的は、当事者をより理解し、長期で入院している方の退院支援や地域移行支援について見識を深めることです。

この映画に関心を持つ、まーぶるや、らそらの利用者と西和エリアの職員、実習生を含めて20人ほどが集まりました。

映画鑑賞後、日々の実践と本映画で感じたことを職員一人ひとり言葉にしました。一部紹介したいと思います。

~~~~~

「主人公の益田さんが、沖縄に行けてよかったという感動だけでは済ましてはいけないと思った」「この人がいるからやってみようと思われる支援者になりたい」「人が薬というのがキーワード。退院支援や地域移行から発展させ、街のあり方や街づくりを考える必要があるのではないか」「沖縄へ行くことに主治医の許可が下りず、『諦めモード』の表情が明らかになっていたのが印象的だった。自分の中で、理由をつけて諦めざるを得ないことに繋がっていくんだなと感じた」など。

~~~~~

精神科病院との交流会はイベント的なものではなく、日常的なものとして、地域での情報を精神科病院へ発信し続けることが大切だとエリア職員間で私たちの方向性を確認することができました。

## 高田エリア

生活支援センターなっつ	0745-23-7214	地域活動支援センターなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	あっとほーむ香芝	0745-44-8023

## 2023年度・家族教室スタート ～今年のテーマは「話す」～

生活支援センターなっつでは大和高田市、香芝市、葛城市、広陵町(以下、3市1町)の精神疾患がある当事者の家族を対象に「精神障害者・家族教室」(以下、家族教室)を開催しています。

2011年度から始まった家族教室は①精神疾患に関する正しい知識や社会資源等の情報を知れる場、②同じ立場の家族が悩みを分かち合う場、③支援者と繋がる場を目的に開催してきました。

内容については毎年、テーマを設定して決めています。

ここ数年は「親なき後の暮らし」をテーマに司法書士の先生を講師に招いて財産管理についての講演をしてもらったり、グループホームやヘルパーを利用している当事者を招いて一人暮らしの実態について話をしてもらいました。

2023年度は「話す」をテーマにWRAP(※)の技法を用いて、自分の良い時と悪い時を知り、元気がないときに元気な自分に戻れるような工夫を見つけていきます。

自分のことを知り、他の家族と思いを分かち合う機会になることがねらいです。

申し込みの必要はありませんので3市1町のお住まいの家族の方、ぜひご参加ください。

(※)WRAP(ラップ)・・・Wellness(元気)、Recovery(回復)、Action(行動)、Plan(プラン)の略で、毎日を元気で豊かに生きること、さらに気分を乱すような状況への気づきを高め、調子が悪くなったときに回復を促す行動プランです。

開催日:2023年9月～2024年3月

毎月第2木曜日13:30～15:00

場所:奈良県産業会館(大和高田市幸町2-33)

対象者:3市1町在住の精神疾患がある当事者家族

問合せ先:生活支援センターなっつ

(TEL0745-23-7214)

## 誰もが暮らしやすい社会を目指して ～香芝市でこども食堂を開催～



賑わうカッシー食堂の来場者

香芝市には「香芝市社会福祉法人連絡会」があります。障害者、子ども、高齢者分野で活動する13の社会福祉法人が連携して制度の狭間にある地域生活課題を予防、解決することを目的に2022年5月に設立されました。あっとほーむ香芝(以下あっとほーむ)も連絡会に加入し、地域公益活動部会の役割を担っています。

地域公益活動部会の活動の一つで、こども食堂「カッシー食堂」を香芝市総合福祉会館で開催しました。子どもを中心に、誰にでも温かな食事と役割を提供し、つながり、安心して過ごすことのできる居場所を作ることが目的です。

社会福祉法人以和貴会のふれあいキッチンSORA特製カレーライスを提供した後、その後もゆっくり楽しく過ごせるようボードゲームやカードゲーム、塗り絵や貼り絵ができるレクリエーションブースも設けました。

午前11時の開店前には行列ができるほどの盛況ぶりで、60人定員のところ小学生や家族連れなど147人の参加がありました。

あっとほーむ香芝の職員と利用者は来てくれた子どもたちと一緒に人生ゲームで遊んだり、お土産のお菓子を配ったり、ゆっくり楽しみました。「カレーおいしかった」「友達と誘い合って来た」「子どもが遊んでいる間、ゆっくり過ごさせてもらいました」などと夏休み中の子どもたちやその保護者からの



入り口も凝っています!

嬉しい感想を聞くことができました。

カッシー食堂:  
10月28日、12月23日、  
2月24日。午前11時～  
午後2時。香芝市総合  
福祉センターで開催予  
定。

## 檀原エリア

生活支援センターぴあぼ〜と	0744-24-2020	地域活動支援センターぴあぼ〜と	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
Pit八木	0744-21-5666	グループホーム南	0744-24-2050

## Pitらんまん☆

～10周年記念お食事会～



盛り上がってます

Pit八木は10周年記念食事会を開催しました。

実は3年前に10周年を迎えていたのですが、コロナ禍だったため集まっての会食は控えようということで、3年後になってしまいました。5月に新型コロナウイルス感染症も5類感染症に変更となり、安心して開催することができました。

どんな会にするのか、どこで開催するのかなどを利用者と一緒にミーティングで話し合い、お店でのお食事会に決定しました!

歩いて行くことのできる、かごの屋奈良檀原店で季節限定メニュー「らんまん弁当」を注文!

「美味しいね〜♪ウフフ♡」少し贅沢なお弁当をゆっくり味わいました。みんなで会話に花を咲かせながら食べるご飯は絶品でした。

追加でデザートを頼んでいる人もいましたよ♪「どれも全部美味しかった!」「ゆっくりできて良かった。」と笑顔があふれました。とっても楽しいにぎやかな10周年記念お食事会でした。

10周年記念企画はコロナ禍ということもあり、記念動画作成やパンフレットのリニューアルなど、こじんまりとしたものになりましたが、15周年はこれまでお世話になった方々への感謝を伝えられるような企画ができればいいなと話し始めています。



おしとやかに パチリ

## 一日料理長! 料理の腕前はいかに!?!...

8月21日~9月4日までの間、ひなた舎に精神保健福祉士を目指す実習生がやって来ました!

久しぶりの長期の実習生に利用者も大喜び。

普段からにぎやかなひなた舎に、より和気あいあいとした雰囲気が流れていました。

そんな実習中のある日。実習生が昼食づくりのお手伝いをしてくれることになりました。台所で腕を振るう実習生。どんな料理が出来上がるのかとメンバーも興味深々で台所に自然とみんなが集まっています。

その日のメニューはシチューでしたが、料理風景覗くともう一つ



洋食店のようにふわトロっ♪

のメインメニューオムライスが登場!オムライスの要である卵を焼く実習生にみんなの視線が集まります。みんなが見守る中、フライパンに広がっている卵を器用な手つきでひっくり返して、きれいなオムライスが完成。

実は料理が得意な実習生。一つも失敗することなく、合計10個のおいしそうなオムライスが出来上がりました。台所に並んでいる料理を見て、「おいしそう!」「オムライスもついてるなんて豪華やなあ」「早く食べたい…」と声が上がります。

そして待ちに待った食事がスタート。味もちろん美味しく、食べ終わった人からは「おいしかった!ごちそうさま!」と、実習生に続々と感想が届いていました。お腹も心も満たされる楽しいランチとなりました♪

## 2023年度・萌風香秋号 利用者投稿コーナー 「テーマ私の秋の思い出」

昨年はコロナ禍の真っ只中でしたが、今年はそれ以前の状態に戻りつつあり、季節を感じる「ゆとり」も出てきたのではないのでしょうか。そんな季節感のある一句を皆様からお寄せいただきました。

残暑暑い 秋風吹くのは 師走かな みさちゃん	みんなで行った 法隆寺 みたらしが美味だった キヨミ	学び舎に まっかな夕やけ 秋の子の頃 榎田 伸也	彼岸花 母と一緒に 摘みにけり じゅんちゃん	葉の色変わる 秋は中年 私の心も赤くなりけり おじさん
山登り 紅葉みながら お弁当 いっちゃん	秋になり クーラーあつたて お腹痛た のんちゃん	いごま山 鳥のさえずり 運動会 あっちゃん	恋バナ嬉し小6の 放課後秋暮れ 帰り道 しゅっじ	ある5時 朝のバス停で 一人顔の汗ぬぐった すぎちゃん
帰り道 空を見上げて 秋の雲 あかねっち	今はなく 思い出の中 父・母の影 ナベちゃん	なつすがた すずしくなりて ベストきる マーボー	食欲の 秋が来た来た 何食べよ さとこりん	自転車で トンボムと走る 涼しげに 天野 奏
賑やかで 笑いの絶えないびあぼと 飽きずにいつまでも…… 北東の県(北斗の拳)	自省し 実り足らずと論し 姿勢を正す稲穂かな 岡橋 亮	母は言っ 買ってきてよと 秋味を 桂馬	秋風よ 冷えてきたなあ 肌さむい オオフジ マサキ	雨露の 京を彩る 紅葉かな 江戸川 小五郎

## さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ  
0743-54-0800

## ライク通信

なら西和障害者就業・生活支援センターライク  
0743-85-7702

### ヘルパー会議

さくらんぼでは毎月各エリア(生駒、郡山、西和、高田・橿原)でヘルパー会議をしています。登録ヘルパーは直行直帰で支援を提供するため、日頃は同僚や職員と会って話をする機会があまりありません。

会議で情報共有や交換だけでなく、仕事の悩みを打ち明けたり、時短調理のレシピを教えあったりして、共に働く仲間との交流を深めることもその目的のひとつです。また、事例検討でスキルアップを図り、共通認識のもと安定したサービスを提供するように心がけています。

「実際に利用者さんのご自宅を訪問するのは一人のヘルパーですが、その後ろ盾としてさくらんぼ大応援団がいます。」と胸を張って言えるよう、より一層励んでまいります

### 就労支援の質の向上を目指して

近年、障害のある方を取り巻く雇用の状況は刻々と変化しており、関係機関との連携はますます重要になってきています。そのような中、障害者雇用の推進のための情報・ノウハウの共有、研修企画などを目的に、「奈良県障害者就業・生活支援センター連絡調整会議」を月に一度開催しています。

今年度は奈良労働局や奈良県障害福祉課、障害者職業センターなどの関係機関と共に、「障害者雇用の量と質」や、それに伴う「就労支援の質の向上」について検討を重ねています。

障害者雇用や就労支援の形は多様になってきていますが、障害のある方ご本人の意思や希望を応援する視点を大切に、今後もスキルアップやネットワークづくりに取り組み続けます。



#### ★萌風香の購読★

萌風香は年 4 回発行です。皆様のお手元に届いた後、萌のサービス利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず萌風香編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いします。

#### ▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は法人事業の支援や寄付を行っています。  
会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会  
00920-4-221824  
後援会事務局(萌総務部内)  
0743-54-0821(出口)

#### ▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口500円(2口からお願いします)です。  
連絡先:会事務局 ふらっと内  
0743-54-3977(帯田)

#### ▽ひだまりクローバー 生駒精神障がい者後援会

第 28 回トーク&ライブひだまりクローバー 2023  
日時:12月9日(土)  
開場13時 開演13時半  
場所:生駒市図書館 3階市民ホール  
内容:生駒ウインドオーケストラによるコンサート、ゲストシンガー山尾賀洋子さん、手話コーラス「カナ」とのコラボレーション  
参加費:1000円(小学生以下及び学生証・障害者手帳の提示で無料)  
連絡先:ひだまりクローバー事務局  
0743-73-1050(コミュニティスペースはなな)

#### ▽地域家族会の情報

詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 <https://nara-mahorobakai.org/>

名称	月例会	時間	場所	問い合わせ先	電話番号
さくら会 (大和郡山市周辺)	第3日曜日	13:30~	三の丸会館	会長関野	0743-54-6375
ひだまり会 (生駒市周辺)	第3土曜日	13:30~	市民活動推進センター ららポート	会長上村京子	0743-78-0885
西和家族会 (西和7町周辺)	第4土曜日	13:30~	王寺町やわらぎ会館	西村	0745-74-6203
すみれ会 (大和高田市周辺)	第3日曜日	13:30~	大和高田市中央公民館	三島	090-9889-7984
のぞみ会 (橿原市周辺)	第2日曜日	13:30~	県心身障害者 福祉センター	ぴあぼ〜と	0744-24-2020